

**第7次高浜市総合計画審議会（第6回） 会議録**

日 時	令和4年7月19日（火）午後7時～8時30分		
場 所	高浜市役所 会議棟	傍聴人数	0名
出席者	委 員	中川幾郎、水野輝久、宮田克弥、前川勉、杉浦秀敏、神谷章一、 酒井幸代、坂本直敏、中川健二、新美純子、横山英樹、深谷直弘 (12名出席)	
	行 政	教育長 岡本竜生 こども未来部長 磯村順司 議会事務局長 竹内正夫 ICT推進グループ リーダー 山下浩二 こども育成グループ リーダー 板倉宏幸 文化スポーツグループ リーダー 鈴木明美 学校経営グループ リーダー 内藤克己 学校経営グループ 主 幹 小嶋俊明 (8名出席)	
	事務局	企画部長 木村忠好 総合政策グループ リーダー 榊原雅彦 同 主 査 祖父江佑介 同 主 任 多武利康 同 主 事 村松邑馬 同 主 事 嶋本花凜 同 主 事 杉浦功暉 (7名出席)	
次 第	1 開会 2 議事 1) 基本計画（個別目標Ⅰ・Ⅱ）について【審議】 2) 序章・総論から基本構想までの修正について【報告】 3 その他		
資 料	参考資料1：各個別目標シート（1～7）（案） 参考資料2：序章・総論から基本構想（修正案） 参考資料3：個別目標シートの見方		

<b>1. 開会</b>
<p>(会長あいさつ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日はご多忙の中、お集まりくださいまして、ありがとうございます。ただ今より第6回高浜市総合計画審議会を開会する。</li> <li>・本日は、審議すべき項目数が詰まっているようですので、的確に進めていきたい。</li> </ul>

<b>2. 議題</b>	
<b>1) 基本計画（個別目標Ⅰ・Ⅱ）について【審議】</b>	
会長	・それでは、議題1「基本計画（個別目標Ⅰ・Ⅱ）」について、行政サイドから個別目標シートの説明を行った後、目標ごとに区切って、委員の皆様から御意見をお受けしてまいります、事務局より説明をお願いしたい。
事務局	(個別目標シートの見方について、口頭にて説明。)
総合政策 GL	(参考資料1「個別目標(1)協働推進」に基づき口頭にて説明)
会長	・これについて意見があればご発言をお願いしたい。
委員	・目指すまちの姿の表現で、みんながゆるやかにつながっているというゆるやかにつながる基準が、大体想像はできるが何かもうちょっといい表現方法はないのか。
総合政策 GL	・ゆるやかにという言葉のイメージとしては、しっかり関わる人もいれば、挨拶程度の関わりというような感じで書いているので、その辺の表現はまた検討する。
委員	・ゆるやかにつながるは、私はよく使う言葉で、厚生労働省も全て、ゆるやかにつながる地域づくり、と言っているため、全然違和感がない。
会長	・ゆるやかにつながるといのは、信頼関係はあるが、プライバシーまで深くは立入りません。そういうことを意味すると、私は理解している。
委員	・こんなことに取り組みますのまちの課題や目標を共有しますの箇所で、2つ目に、共有する場を創出するとある。今までにもあったかとは思いますが、創出するという事は、新しく今までと違うスタイルと理解していいか。
総合政策 GL	・今までも、今言われたようにまち協がまさにその場であったかと思っている。説明の中でも出てきた市民会議を今後も、継続していきたいと思っている。そういったところから人材の発掘にもつなげていき、また市民会議のようにゆるやかにみんなで意見交換できる場をつくってほしいという意味を込めて書いている。
委員	・こんなことに取り組みますの四角の3つ目、まちづくりという部分の、このインセンティブの付与のインセンティブって皆さんがすぐ分かるのか。
総合政策 GL	・よくは使わないかもしれない。特典やメリットのような意味で使っている。最後にちょっと用語解説を入れさせてもらう。
総合政策 GL	(参考資料1「個別目標(2)多文化共生」に基づき口頭にて説明)
委員	・SDGs アイコンについて、多文化共生は、私たちはいつも住み続けられる

	<p>まちづくりを必ず 1 番に挙げているがそれが入っていないことに違和感がある。みんながお互いに尊重し合い、長く暮らしてほしいからこれをあげている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すごく読みやすくわかりやすくまとめていただいているなど思っているが、これをするためには、もう 1 つ下の計画がいるはずである。高浜市には多文化共生プランがないので、その辺をどう考えているか。</li> <li>・目標の達成度を測る指標が、多文化共生コミュニティセンターへの来所者数とあるが、来所者数については年々増えるだろうし、そのうち爆発的に増えれば制限がかかってくる。そうなると来所者数では測れないと思う。</li> </ul>
総合政策 GL	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs のアイコンについて、職員プロジェクトで検討はしたが再度検討する。</li> <li>・多文化共生プランについて、県内ではつくっている自治体も多いが高浜市は最近多文化共生にしっかり取り組み始めたところ。今後策定をしていく方針を持っているので、こんなことに取り組みますの中に少し匂うような書きぶりができたらと考えている。</li> <li>・多文化共生コミュニティセンターへの来所者数については、我々としては、センターに来てくれることがまず、多文化共生の第一歩かなというところと考えていたが、逆にもしこんな数、数字のほうがいいんじゃないか等あれば、また後日でもいいので教えてもらいたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人市民と外国人市民という 2 つの区別がしてあるが、区別する必要はないのでは。市民の中でお互いに、国籍や文化の違いを理解したり、認め合ったり、地域の一員として、助け合うという格好で、ここでわざわざ日本人市民とか外国人市民っていう区別をする必要は全くない。</li> </ul>
総合政策 GL	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討していく。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外で住むということを考えると、ここに書いてある内容がどうしても、日本人の方が考えてこうだろうって書いたように見える。外国人の方とコミュニケーションと書くとちょっと違ってくると思う。何か仕組みとかを作っていかなければと思う。その辺が、いれてあるべきだと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、外国の方から聞いた意見を、総合政策グループへデータを全部提出している。外国人と日本人の相互の理解、意識の差が生じているというデータも持っていてそれを渡しているの、細かいことは全部載せれないと思うが、私は反映されていると思う。</li> </ul>
ICT 推進 GL	<p>(参考資料 1 「個別目標 (3) DX (デジタルトランスフォーメーション) 推進」に基づき口頭にて説明)</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この間、行政デジタルDX の話をした中で、すごく行政としてはよく書かれていて、明確なところを持っていると思った。ただ、みんなで作る高浜市という点では、行政だけではなく、市内企業もこういったデジタル推進が必要だと思うがそういったところはどこをどう考えているか。</li> </ul>

ICT 推進 GL	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の施策においては、デジタル技術を活用した産業の活性化という目標もあるが、高浜市単体において誰が1番大事かといったときに、我々職員の数とかそういったことを考えたときに、まず市民の皆様のオンライン化を進めていきたい。確かにそういうような視点もあるが、あれもこれもというような形になると、やりきれない部分があるので、その部分については国と連携をしていく。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こんなことに取り組みますの中で、書かない・待たない・行かないデジタル窓口を実現しますについて、非常にいいことなので早くやってほしい。今、いろんな施設の利用申請のほとんどが手書きでしかも、カーボン紙でやっている。その辺も、窓口でやらなくてもいいような形をとってほしい。</li> </ul>
ICT 推進 GL	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぜひそちらのほうも進めていきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル化について、IT等そういうものが全く駄目ですという人がいっぱい高齢者にはいると思う。具体的になってから、ここの中に、少し取り入れたほうがいいと思う。</li> </ul>
ICT 推進 GL	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢の方で苦手な方、高齢でなくても苦手な方に対して、何が何でもデジタルでやってくださいということは考えていないので、皆さんがやりやすいやり方でやっていただければと思っている。ただ、一方で、国の統計で現在60歳から69歳の方でスマートフォンを持っている方が70%、70歳から79歳から約40%という結果がでている。やはり高齢者の方がひとくくりで苦手だという考え方は危険だろうと考えている。</li> <li>・我々としては窓口をなくすつもりは全くなく、デジタルとアナログが、上手に融合した窓口をつくっていきたい。人の配置も当然考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今のお話によると、この目標分野の現状と課題の下に、資料としてグラフが2つ載ってるが、今、言われたような意味でこの資料を取上げていくのか、それとも逆に、高齢者にとっては情報システムが、非常に難しい、情報難民になる可能性があるということを使うつもりなのか。</li> </ul>
ICT 推進 GL	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢の方がひとくくりで苦手だという形ではなく、年齢にかかわらず、得意な方はデジタルを使っていただき、そうでない方はアナログでできるということを示すグラフとして掲載している。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の改善効率化で見た人的支援ということで、要は人がいらなくなる。そうすると、職員の数等どういふふうに影響すると考えているか。今の中で余った人間をサービスにつなげるっていうのはおかしい。まずは、どのぐらいの人員が本当に必要かというところから始まっていく気がする。</li> </ul>
ICT 推進 GL	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル化をしたときにフロント業務、とバックオフィス業務がある。オンライン化を進めるとそのバック業務の自動化が行われ、職員はどうするかというと、窓口そのまま配置をする形となり、将来的な目指す姿として、市役所に来庁した方については、丁寧に説明や相談をする時間が確保できる。</li> </ul>

総合政策 GL	(参考資料 1「個別目標 (4) 情報発信・シティプロモーション」に基づき口頭にて説明)
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こんなことに取り組みますの、真ん中知ってほしいについて、これは私どものところでも地域計画を作成しているときに、団体が何をやっているのかということを広報していくのはすごい労力がかかる割に届かない。こういうふうにやってもらえるなら、市役所のほうで、センター的役目をしてもらうことは可能かどうか。</li> <li>・デジタル化とあわせて、この場所ではこんなことをやってますという目安は出ていると思うが、今月、来月、それから先月こんなことがあったということも含めて、できるような構想はないか。</li> </ul>
総合政策 GL	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実は市民の皆さんからも、投稿できるようなツールを第6次の後半でもつくっていきたいというのは考えていたが、なかなか手がつかなかった。市民の皆さんにいろいろ活動していただいているので、行政だけでは全部は網羅が出来ない。そういったところで市民の皆さんにも発信をしていただきたい。ただ、そのための今プラットフォームになるツールというのがなかなかないので、その部分を整備することで一緒に、市民の皆さんにいろんな情報を発信していただけたらと考えている。</li> <li>・今、市のホームページも、イベントカレンダーというものがあるが、ほぼ更新がされていない。そういった部分でもまずは情報を吸い上げる仕組み、その次に、一緒に発信できる仕組み、その辺を段階的に一緒に考えていきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こんなことに取り組みますの人材育成の部分で、今の高浜高校の生徒たちが、タツヲ焼きで全国飛び回っていると思うが、あれも人材育成としてすごくいいと思うので、そういったところも入れていいと思う。</li> <li>・ファンづくりのところで、ふるさと納税は数値化できるものなので、ふるさと納税を入れてもいいのかと思う。</li> </ul>
総合政策 GL	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成のところについては委員言われるようにタツヲ焼きはじめ、若い方々が積極的に市のPRをするということがなかなかなかったので、検討する。</li> <li>・ふるさと納税について、当初は指標にも入れようかなと悩んだが、制度的にいつまで続くのかわからない部分もあるということもあり抜いているが悩んでるところ。</li> </ul>
こども育成 GL	(参考資料 1「個別目標 (5) 子育て・子育て」に基づき口頭にて説明)
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これがどこへ入るかわからないが、高浜ネクストと子供食堂というのがあると思うが、これはどこに入っていくか。</li> </ul>
総合政策 GL	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高浜ネクストは、アシタのたかま研究所というところで、50年後将来どうなっていくかっていうのを展望したもの。もし入れるとするなら、1番最後の章のところに行財政運営という行政運営のところが出てくるので、そ</li> </ul>

	<p>の部分でエッセンスとして入ってくるのかと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子供食堂については、地域福祉の部分で出てくる。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ S D G s アイコンの1が入ってないのが、どうしてなのか。子育てにお金がかかるといわれる。子供が欲しいがお金がないから子供を産み、育てることが出来ないということが、実際に今あることなので、少しでもそこに支援が行くような取組みがあればと思った。</li> </ul>
こども育成 GL	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安心して子供を産み育てられる環境を整えますの趣旨に合致するものと思う。目標5の趣旨としては、いわゆる子育て・子育とか、サービスとしてどのような施策を打ち出すかというところで、安心して子育てができるような、いわゆる環境的な整備の内容として入れている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この施策が目指すまちの姿の2つ目、多様化する生活スタイルの中でという言葉がすごく好きで、同じ思いで私も市内でマルシェなどを行っている。まちの姿の3つ目は、こんなことに取り組みますにしっかり反映されているかなと思ったので、2つ目ももう少しこんなことに取り組みますの内容としてあったほうがいい。</li> </ul>
こども育成 GL	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ こんなことに取り組みますの中で、ニーズというところが、いわゆる子育てをして必要とされるニーズが多様化されているという趣旨で、今回、書いている。1つは、核家族化により、場所がない。あとは、例えば、外国からお見えになったお子さんの子育ての日本での仕方、情報提供が不足している。その中で、本当に子育てに必要な情報やニーズというものを的確に把握する。いろんな方が高浜に住むことによって発生する多様な生活スタイル、子育てとしてどのように対応していくかという趣旨で書いている。</li> </ul>
学校経営 G 主幹	(参考資料1「個別目標 (6) 学校教育」に基づき口頭にて説明)
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校は5つあり、まち協も5つある。ところがまち協の役割はここで絶対出てこなければと思うが、何ひとつ出てきてない。</li> <li>・ 知・徳・体の調和のとれた発達って書いてあるが、今日、学校の帰りの立ち番をやってきたが、さようならとかいろんなことを言っても、全然反応しない。数年前からかなり落ちてる。そのあたりについてはどうか。</li> <li>・ モラルと書いてあるが、右側通行する等の交通ルールが守れてない。教育ってどうなっているのか不安。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最近、授業参観の機会があり、いろんな国の子供たちが増えていると感じたが、外国籍の生徒についてはどこにも出てこない。課題では常に社会の変化に対応した取組が求められる、にくくられているのか。</li> <li>・ グラフの小6と、中3の数値を比較するといずれの年度においても自分は成長してると思うの中3の生徒が低くなってる傾向があると思うが、これはなぜなのか。それに対する課題は。</li> </ul>
学校経営 G 主幹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まち協とのかかわりについて、日頃から、まち協の方々からの学校への御支援に感謝している。特に小学校で、まち協さんとの協働での授業づくりをし</li> </ul>

	<p>ているが、そこは、質の高い授業づくりというところに込めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶の大切さや、交通ルールについては学校でも、日頃から、指導支援等、話をしているつもりではあったが、今後も継続して話を続けていく。</li> <li>・外国籍の方々については、こんなことに取り組みますというところの、一人ひとりを大切に、きめ細やかな教育の仕組みをつくり出すというところに込めて書いている。全ての小中学校において、日本語指導教室というところも、設置をして、必要に応じて取り出しをしながら支援をし、外国から日本にいられて、日本の学校の中でまだ難しいお子さんについては、市内に2か所、まずはそこで、日本の文化を学んだり等、基礎基本を学ぶ場所を設置して支援をしている。</li> <li>・小6から、中3の自己肯定感が低くなっているということについては、そもそもある意味自分のことを客観的に見つめることができるからこそその自己評価であるかと思う。それでも、自分に自信を持って活動ができるように、少しでも自分の強みを理解して活動できるよう、自己肯定感を高めるような活動を、授業、学校行事を通して取り組んでいきたいと考えている。</li> </ul>
文化スポーツ GL	(参考資料1「個別目標(7)生涯学習・文化・スポーツ」に基づき口頭にて説明)
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここでは生涯学習がテーマで挙げられており、特に伝統だとか文化、そういったものも守り、いろいろ実施しているケースが事例としてあるが、ちょっと気になったのは、これを見て、さっきの学校教育に戻ると、何も書かれてない。地域のそういう大事な内容が、学校教育にもあってもいいのかなと思う。</li> </ul>
文化スポーツ GL	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習と学校教育が連動してくる部分はあるが、すべてを書ききれものではない。ここは基本計画であるので、より具体的な取組についてはもうひとつ下のアクションプランで表現していくことになる。いただいた意見を参考に検討していく。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現の問題かもしれないが、課題のところを読んでいて、ほかのものちょっと違う感じが気になった。課題なので、例えば2つ目の、育んでいくことが大切です、は思いであって、本当は課題が今見えてることが書かれないといけない。課題がもう少し明確に見えた方がよい。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「大切です」というのは次の行動を促す言葉なので課題と解釈することもできる。</li> <li>・言葉の問題でもあるから書き方を考えてもらいたい。</li> </ul>
文化スポーツ GL	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討します。</li> </ul>

<b>2) 序章・総論から基本構想までの修正について【報告】</b>	
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・続きまして、議題2「序章・総論から基本構想までの修正」について、事務局より説明をお願いしたい。</li> </ul>

事務局	(参考資料1「基本計画(個別目標)の構成(案)について」基づき説明。)
会長	・これについて意見があればご発言をお願いしたい。
委員	(異議なし)
会長	・22ページの基総合計画は基本計画の誤りでよかったか。
事務局	・誤りであるので基本計画と読み替えていただきたい。
会長	・異議なしのため、この通りに進めていくこととする。

3 その他	
会長	・以上で全ての議事は終了したが、最後にお気づきの点、また言いたいことがあればお願いしたい。
委員	・学校教育の中で、先生間の格差があると思うので、一定レベルまで引き上げるなり先生のレベルアップ等の施策をどこかにいれて欲しい。
学校経営G主幹	・これまでも教員研修を実施しており、愛知県の研修、西三河教育事務所による研修、また高浜市教育委員会が実施するアプリケーション等を行っている。ここで、改めて記載するかどうかは検討するが、レベルアップのための教員研修は、引き続き実施していく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsの右上のアイコンがわかりにくいのもうちょっと大きくわかりやすくマーキングしてもらったほうがいい。</li> <li>・5万2000人の件について、目標じゃない想定だということだが、想定で増え、外国人の方も増え、それを超えると今度は減っていく。そういう意味では、その解析の仕方でも方向づけと違うような気がする。</li> <li>・19ページの基本構想でまちづくり協議会の図が書いてあるが、これは何の図か。ばらばらに見える。</li> </ul>
総合政策GL	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイコンについては大きくする。</li> <li>・図については、白黒なのでわかりづらいが、裏に背景でみんながまとまって協力し合ってるような図となっている。</li> </ul>
会長	・今後について、事務局からお願いしたい。
事務局	<p>3点連絡します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の皆様には、コメントシートを配付しております。22日に開催する審議会もあわせて、お気づきの点がありましたら8月8日までにご連絡ください。</li> <li>・次回の審議会は、22日金曜日の開催を予定しています。</li> <li>・議事録につきましては、前回と同様にまとめ次第、委員の皆様へお送りして確認いただき、書面で了解を得た上で公開します。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の皆さまのご審議を踏まえた所見を申し述べる。</li> <li>・人口のところの目標人口という捉え方だが、今日、目標人口という捉え方をしている総合計画は皆無である。そのような目標を持つこと自体がナンセンスである。人口を増やすことができるような自治体はどこにもない。それよりも新しい社会関係資本の概念を導入してはどうかと思う。人口の多い少ないではなく、当該自治体内における1人当たりの人間関係の本数、つまり、信頼関係を持っている知り合いの本数に新しい社会資本の概念が変わって</li> </ul>



きている。ヨーロッパの各国を見ていると人口が多いから強い弱いというよりも、都市なら都市内におけるネットワークの本数が、社会関係資本だということが既に定着しつつあり、日本もその概念に転換すべきでないのか。そう考えると、先ほどの小学生児童が挨拶をしないというのは、社会関係資本が形成されていないといえる。ではどうすべきか、次の施策を打たなければならない。学校と地元のまちづくり協議会が密接に繋がっているとか、まちづくり協議会のおじさんたちが、子どもたちといつでも挨拶ができるような行事を企画していくとか、それを生涯学習の方面でやるべきなのか、学校教育でやるべきなのか、お互いの資本を交換し合うよう話し合いができていいのか。それをするべきではなかろうか。この様な議論が必要。新しい市民同士のいわゆる信頼関係のネットワークの本数を増やすってことをもっと戦略的に考えるべきだろう。

- ・ベネッセが文部科学省に頼まれて行った調査のデータでは、10個ほど設問があり、国語と算数の成績がこのケースの場合はこっちの子の方が高いとか低いとかデータを出している。子どもが親御さんと一緒に美術館や博物館に行く習慣があるという家庭の子どもは、国語も算数も無いという習慣の家庭より15ポイントほど学力が高い。また、子どもに小さい時から絵本の読み聞かせをしていたという家庭の子どもは国語力がその習慣がなかったという子どもに比べて12,3ポイント高い。それと反対にとにかく勉強しなさい、と絶えず口やかましく言われている家庭の子どもは、そんなことを言ったことはないという家庭の子どもより10ポイントほど学力が低い。これが何を意味しているのか。これは熊倉純子氏がいつも嘆いていることで、東京の子どもは施設が多くあり、恵まれているがために平均学力が高くなってしまっていると、こういうことが非常に情けない。そうすると、地方は大型のホール、立派な図書館をもてない等というハンデを追うではないかと。それを均等化していくのが国の責任ではないかと言われている。ベネッセのデータはそれを証明している。我々はどういう風にハンデをレベルアップしていくかということを考えるべき。その中で正しく大事になってくるのが人的資本の再装備ということ。そうなると、個人的な思いだが、図書館や大型の美術館をつくらう等と言っている暇はもうない。であるならば近隣のネットワークをもっと強化していくとか、或いは子どもたちを立派な環境のところに行かしてあげるとかドラスティックな発想をする必要があるかもしれない。更にこの町にはたくさんの立派な企業があり、リタイアされた知識人がいるのに、それらの人々をティーチャーとして活用していない。全部を学校の先生に押し付けるのは資源の偏りありすぎると感じる。企業人として活躍されてきた方は十分生涯学習のティーチャー、レクチャーとしての能力をもっているのに、それを活用することが大事なのか。まちづくり協議会の平均年齢が今70代に突入しようとしている。このまちで余りお金をかけず、しかも次世代のリーダーを育成していくための資本は何かというと、はっきりと言って生涯学習だと思っている。人的資本の再整理、育成、開発、繋ぎなおしということをもっと考えるべきでないか。人口増加を頑張っても意味がない。それよりも今いる人口の中で、人間関係の信頼できる本数を増やす、そしてリタイアされたより若い世代の方々にもっと出てきてもらうようにしたらどうか

	<p>と前から思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誤解されるといけないのであえて言うが、例えば都市計画マスタープラン等は、法定計画である。高浜市の自治基本条例ではっきり宣言しているように、この基本計画（総合計画）が、この町の最高上位計画。マスタープランや、土地利用基本方針等、全部この総合計画の秩序の中に収めていただきたい。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これをもって、第6回高浜市総合計画審議会を終了する。</li> </ul>